

ローソク取扱説明書

取扱説明書は安全のため必ずお読み下さい。読んだ後は必ず元の位置に戻し、ご使用の最後まで大切に保管して下さい

—安全にご使用いただくために—

- ! **使用前の注意** 燭台は必ず不燃性で安全なものをお使い下さい。
 - * 燃えカスや残蠟を取り除いて下さい。燭台を燃やすことがあります。
 - * 燃焼中のローソクが倒れると火災になることがあります。
 - * デザイン・機能により燃焼時液化し、ロウがたれるものがあります。ローソクにあった燭台(容器)を用意し、しっかり立て、倒れないようにして下さい。
 - * 着色したローソクはたれるものがあります。
 - * フローティングキャンドル(水に浮くローソク)の芯は水に濡れないようにして下さい。火がつかなくなったり、時にはバチッと跳ねたりします。
 - * 燭台は冷めてからご使用下さい。ローソクが燃え終わった燭台はあつく、新しいローソクを立てると溶けて倒れることがあります。
 - * ほこりの付いたローソクは柔らかい布でふき取りきれいにして下さい。
 - * 芯まわりのゴミ・マッチの燃えカスは取り除いてください。
 - * 熱により破損する燭台(容器)があります。ご注意下さい。
 - ! **使用時の注意** 燃焼中はその場所からはなれず、危険を回避するようにして下さい。
 - * 火のついたローソクから、立ち去る時は必ず消してください。
 - * 燃えやすい物の上や、近くに置かないで下さい。
 - * 燃焼中はペット(小動物)には注意をして下さい。
 - * 燃焼中は高温です。ロウ、燭台にふれない、ヤケドの原因になります。
 - * ロウの流れ、転倒は、火災の原因になることがあります。ご注意下さい。
 - * 炎が風でゆれないように、油煙・ロウたれをおこし、異常な燃え方になります。
 - * 芯の長さは10^{mm}位が最適です、長すぎるとススがでるのでカットして下さい。
 - * 点火(再点火)は芯の根元に火をあてロウをとかすようにして着火して下さい。
 - * 芯が3^{mm}以下の短いときは、ロウを数滴とかすように捨ててから着火して下さい。
 - * 炎が小さい時や液状のロウがあふれそうなときは、余分なロウは捨てて下さい。片流れや、異常な燃え方や、まわりを汚す原因になります。
 - * 火のついたローソクに化粧品・香水・殺虫剤等其他エアースプレーはかけないで下さい。大変危険で、火災、火傷の原因になります。
 - ! **使用後の注意** 消したら芯を立てる、横や斜めになると、再点火しにくく異常な燃え方をします。
 - * 溶けたロウは配水管に流さないで下さい、パイプつまりの原因になります。
 - * 消火後のローソクは、ロウが固まってから捨てて下さい。
 - * ローソクの保管は直射日光や熱気の強い場所はさけて下さい。
 - * 一度やわらかく変形したローソクは、使用すると倒れやすいので破棄して下さい。
 - * 保管は横になるように置いて、箱に入れ、ホコリがつかないようにして下さい。
- 誤って食べても中毒症状をおこすことはありませんが、万が一喉に詰まった場合は速やかに吐かせ医師の診断を受けて下さい。子供の手の届く所に保管、使用しない。
ご使用にあたってご不明な点がございましたら、ご購入先までご連絡下さい。

